

FGセンサ式業務用ペットボトル金属異物検査装置

豊橋技術科学大学 工学研究科 教授 田中三郎
アドバンスフードテック株式会社 鈴木周一

▶〈関連ページ〉14ページ

狙い スーパー等の店内には所狭しで非常に沢山のドレッシング商品が陳列されている。この種の商品に関して最も重要なことは、①ボトル内部は、刻まれた固形物があり、②塩分等の調味料が存在し、③各種の粘ばい油脂で構成されているので、X線検査機やサーチコイル式検査機では対応が不可能であり、これらの課題に対応できる金属異物検査機を開発する。

用途 ドレッシング、各種スープ、醤油及びビール等の非磁性容器を使用した食品やアルミ缶等で、その適用分野は広い。

特長

- ベルト搬送するペットボトルの液体食品中に混入する金属異物を自動検出する装置。
- ペットボトル以外で容器が非磁性であれば適用が可能で、ドレッシング、スープ等の固形物、塩分、気泡及び混合油脂等の影響が全くない検査装置。
- 醤油業界、ビール業界等の最終工程で、高速で流れるボトルものの検査には広く普及が期待でき、既に大手の食品会社の生産ラインでの稼働実績がある。

仕様

機器寸法／機幅1500×奥行800×高さ1800mm

検査製品寸法／ボトル外形100×高さ300mm

ノイズ低減／CPUによる特殊演算

操作盤／波形表示、閾値等設定、異物履歴保存、パトライト、ブザー等



図1 金属異物検査機外観
・ボトル上下動式
・ボトル検査速度40本／分

■お問い合わせ／アドバンスフードテック株式会社 代表取締役社長 鈴木周一
e-mail : suzuki@aftweb.co.jp 電話番号 : 0532-29-9033 FAX : 0532-29-9035
■特許の有無 : 特願2015-024016